

市町村のがん検診事業の状況について

子宮頸がん検診

青森県がん・生活習慣病対策課

2022(令和4)年2月2日

子宮頸がん検診

1. 指針への対応状況

◆がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

死亡率の減少効果について科学的根拠のあるがん検診が、市町村の事業として行われるよう国が示した指針。

がん検診の種類	がん検診の内容		
	検査方法	対象者	受診間隔
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	20歳以上の女性	2年に1回

子宮頸がん検診

2. 市町村チェックリスト実施率 集団検診機関チェックリスト実施率

◆チェックリスト実施率 = 技術・体制指標

がん検診に関与する機関（市町村、検診機関、県）が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

<子宮頸がん検診> 市町村チェックリスト実施率(2020(R2)年度) 1

(1) 県全体の市町村チェックリスト実施率の状況

集団検診	子宮頸がん検診				個別検診	子宮頸がん検診			
	2015 (H27)		2020 (R2)			2016 (H28)		2020 (R2)	
	順位	都道府県名	順位	都道府県名		順位	都道府県名	順位	都道府県名
		CL実施率 (%)		CL実施率 (%)			CL実施率 (%)		CL実施率 (%)
-	全国 77.2	-	全国 81.3	-	全国 63.5	-	全国 73.5		
1	香川県 98.1	1	新潟県 98.0	1	福井県 94.6	1	福井県 97.8		
		
40	青森県 65.8	18	青森県 88.5	31	青森県 57.5	25	青森県 75.1		
		
47	沖縄県 50.6	47	山梨県 58.4	47	北海道 45.9	47	沖縄県 55.2		

地域別の2020 (R2) チェックリスト実施率 (%)

青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北
82.9	91.7	85.2	93.3	87.5	90.9

地域別の2020 (R2) チェックリスト実施率 (%)

青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北
71.6	70.4	78.8	72.4	70.0	93.6

＜子宮頸がん検診＞ 市町村チェックリスト実施率(2020(R2)年度) 2

(2) 特に市町村の実施率向上が必要な項目(助言・指導項目)の状況

No	チェックリスト項目	実施状況	
		区分	2020(R2)
1	対象者全員に対して個別の受診勧奨を行う。	集団	30 / 39
		個別	27 / 36
2	未受診者に対して再勧奨を行う。	集団	12 / 39
		個別	12 / 36
3	個人別の受診台帳を作成する。(受診歴等の管理)	集団	38 / 39
		個別	35 / 36
4	受診勧奨時にがん検診の意義や精密検査の必要性等をリーフレット等で説明する。	集団	38 / 39
		個別	32 / 36
5	精密検査の結果を把握する。(漏れなく回収する体制がある。)	集団	38 / 39
		個別	35 / 36
6	市町村・検診機関・精検機関で精検結果を共有する。	集団	36 / 39
		個別	23 / 36

No	チェックリスト項目	実施状況	
		区分	2020(R2)
7	精密検査未受診者への個別の受診勧奨を行う。	集団	37 / 39
		個別	34 / 36
8	基準に沿った仕様書(精度管理項目を明記)を作成し、委託検診機関を選定する。	集団	37 / 39
		個別	27 / 36
9	検診機関へ精度管理評価をフィードバックする。	集団	23 / 39
		個別	4 / 36
10	プロセス指標を全体、性別・年齢5歳階級別、検診機関別、検診受診歴別に集計し、把握する。	集団	28 / 40
		個別	17 / 35
11	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名の一覧を提示する。	集団	36 / 39
		個別	27 / 36

(※No 10は全てのプロセス指標を把握している市町村の数)

＜子宮頸がん検診＞ 集団検診機関チェックリスト実施率(2020(R2)年度) 1

(1) 県内の集団検診実施機関チェックリスト実施率の状況

		子宮頸がん検診			
		2019(R1)		2020(R2)	
チェックリスト実施率・委託市町村数	検診機関名	CL 実施率 (%)	委託市町村数	CL 実施率 (%)	委託市町村数
	青森県総合健診センター	非 公 表		96.4%	35
	弘前市医師会健診センター			—	—
	八戸市総合健診センター			96.4%	2
	八戸西健診プラザ			100.0%	2
	五戸町健診センター			72.4%	3
	公立七戸病院			—	—

＜子宮頸がん検診＞ 集団検診機関チェックリスト実施率(2020(R2)年度) 2

(2) 各設問の実施状況

項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数	項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数
① 受診者への説明	(1) 検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されることを説明し、要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しましたか	4 / 4	② 検査の精度管理	(1) 検診項目は、医師による子宮頸部の検体採取による細胞診のほか、問診、視診を行いましたか	4 / 4
	(2) 精密検査の方法について説明しましたか	4 / 4		(2) 細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)を仕様書に明記しましたか	2 / 4
	(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか	4 / 4		(3) 細胞診は、直視下に子宮頸部及び腔部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理しましたか	4 / 4
	(4) 検診の有効性に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	4 / 4		(4) 細胞診の業務(細胞診の判定も含む)を外部に委託する場合は、その委託機関(施設名)を仕様書に明記しましたか	1 / 2
	(5) 検診受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	4 / 4		(5) 検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関で再度検体採取を行いましたか	2 / 4
	(6) 子宮頸がんの罹患は、わが国の女性のがんの中で比較的多く、また近年増加傾向にあることなどを説明しましたか	4 / 4		(6) 検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関でその原因等を検討し、対策を講じましたか	3 / 4
				(7) 検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	4 / 4
				(8) 問診は、妊娠及び分娩歴、月経の状況、不正性器出血等の症状の有無、過去の検診受診状況等を聴取しましたか	4 / 4
				(9) 問診の上、症状(体がんの症状を含む)のある者には、適切な医療機関への受診勧奨を行いましたか	4 / 4
				(10) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	4 / 4
				(11) 視診は腔鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しましたか	4 / 4

＜子宮頸がん検診＞ 集団検診機関チェックリスト実施率(2020(R2)年度) 3

項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数	項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数
③細胞診判定施設での精度管理	細胞診をどこで行っているか	自施設 2 外 注 2	④システムとしての精度管理	(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされましたか	4 / 4
	(1) 細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか もしくは、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行いましたか	4 / 4		(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	4 / 4
	(2) 細胞診陰性と判断された検体は、その10%以上について、再スクリーニングを行いましたか または再スクリーニング施行率を報告しましたか	3 / 4		(3) 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果（精密検査の際に行った組織診やコルポ診、細胞診、HPV検査の結果などや、手術によって判明した組織診断や臨床進行期のこと）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	4 / 4
	(3) 細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いましたか	4 / 4		(4) 診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会等を設置していますか もしくは、市区町村や医師会等が設置した症例検討会や委員会等に参加しましたか	3 / 4
	(4) 全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか	4 / 4		(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか	3 / 4
	(5) がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか	4 / 4		(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか あるいは、都道府県的生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	3 / 4
	(6) 標本は少なくとも5年間は保存していますか	4 / 4			

子宮頸がん検診

3. プロセス指標

◆プロセス指標

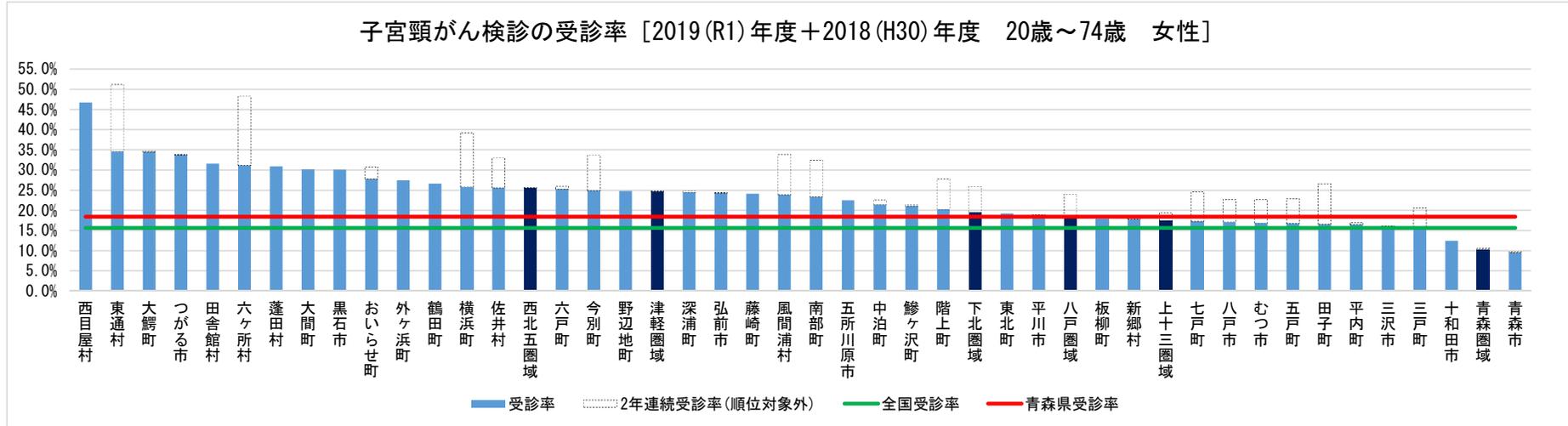
市町村のがん検診事業の各プロセス（受診者の募集、スクリーニング、精密検査への誘導、精密検査、事業評価）が適切に行われているかを評価するための指標。

2019 (R1) 年度 子宮頸がん検診の受診率

1. 子宮頸がん検診の受診率

受診率は、検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標で、高いことが望ましい。

対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。



<子宮頸がん検診の受診率 [2019 (R1) 年度+2018 (H30) 年度 20歳～74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.6%	18.4%	10.3%	24.6%	18.3%	25.5%	17.4%	19.5%	9.5%	24.3%	17.1%	30.1%	22.5%	12.4%	16.0%	16.8%	33.8%	18.8%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	19位	32位	9位	23位	39位	37位	33位	4位	28位
受診者数	6,808,035	80,729	11,117	24,339	19,854	10,842	9,959	4,618	9,554	14,756	13,360	3,484	4,257	2,614	2,121	3,191	3,476	1,989
対象者数	43,573,107	438,310	108,012	98,739	108,217	42,459	57,222	23,661	100,920	60,811	78,158	11,566	18,961	21,024	13,271	18,989	10,298	10,601
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	16.5%	24.9%	30.9%	27.4%	21.1%	24.4%	46.7%	24.1%	34.5%	31.6%	17.9%	26.6%	21.4%	24.8%	17.3%	25.3%	25.8%	19.2%
順位	36位	16位	7位	11位	25位	18位	1位	20位	3位	5位	29位	12位	24位	17位	31位	15位	13位	27位
受診者数	592	187	282	502	655	612	179	1,227	1,061	807	836	1,117	725	1,080	866	900	356	1,057
対象者数	3,598	752	913	1,829	3,109	2,505	383	5,087	3,079	2,553	4,659	4,193	3,393	4,360	5,020	3,560	1,381	5,500
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	31.1%	27.8%	30.1%	34.5%	23.8%	25.6%	15.8%	16.7%	16.5%	23.3%	20.2%	17.8%						
順位	6位	10位	8位	2位	21位	14位	38位	34位	35位	22位	26位	30位						
受診者数	965	2,389	504	639	139	145	492	935	283	1,361	911	123						
対象者数	3,106	8,596	1,672	1,850	583	567	3,120	5,586	1,714	5,846	4,506	691						

[受診率の計算方法について]
 (2019年度の受診者数 - 2019年度の2年連続受診者数 + 2018年度の受診者数) ÷ 2019年度の対象者数 = 受診率
 ※プロセス指標に合わせて75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

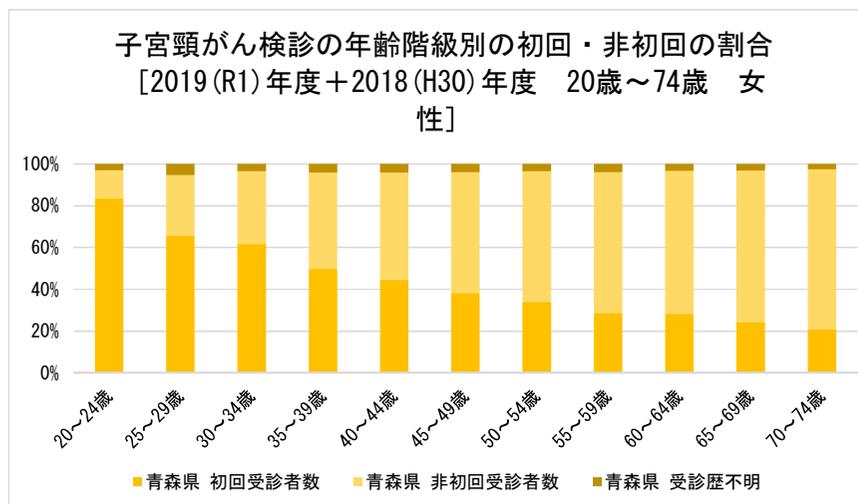
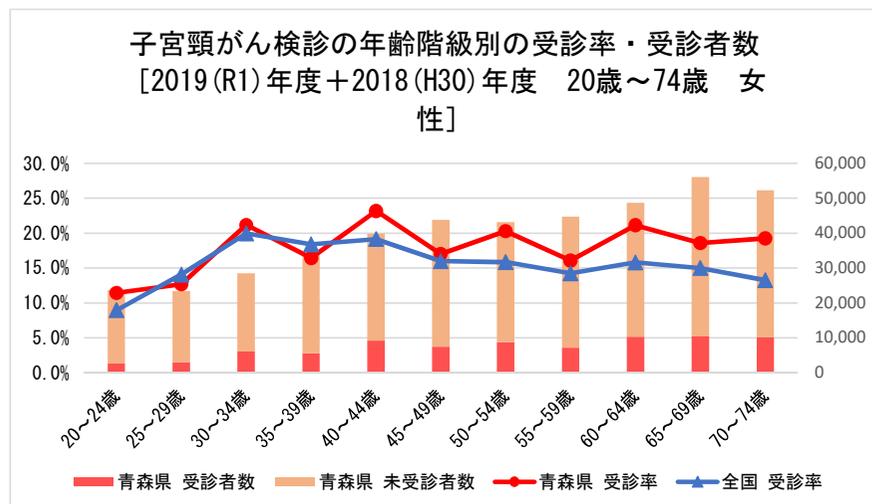
※県平均より受診率が低い(ただし、対象者数が0の場合を除く)箇所を色付けしている。

※受診率及び順位は、2年連続受診率を除いたものである。

(出典：2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況 [自治体名：青森県]

検診受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか、初回受診者は多い等）を確認する。



<子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [2019 (R1) 年度+2018 (H30) 年度 女性] >

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	20～69歳	20～74歳
青森県	対象者数	23,647	23,421	28,486	34,059	39,857	43,884	43,174	44,754	48,650	56,062	52,316		385,994	438,310
青森県	受診者数	2,703	2,968	6,032	5,602	9,240	7,468	8,754	7,185	10,294	10,411	10,072		70,657	80,729
青森県	初回受診者数	2,255	1,955	3,725	2,783	4,128	2,847	2,959	2,057	2,920	2,541	2,120		28,170	30,290
青森県	非初回受診者数	364	855	2,091	2,585	4,729	4,326	5,492	4,851	7,038	7,540	7,692		39,871	47,563
青森県	受診歴不明	84	158	216	234	383	295	303	277	336	330	260		2,616	2,876
青森県	受診率	11.4%	12.7%	21.2%	16.4%	23.2%	17.0%	20.3%	16.1%	21.2%	18.6%	19.3%		18.3%	18.4%
全国	対象者数	3,102,149	3,108,185	3,408,535	3,800,732	4,369,579	4,867,449	4,254,124	3,848,584	3,783,701	4,481,550	4,548,519		39,024,588	43,573,107
全国	受診者数	277,582	436,957	681,300	700,165	836,413	777,939	674,033	548,880	598,882	672,316	603,568		6,204,467	6,808,035
全国	初回受診者数	224,704	293,473	382,884	325,772	349,975	284,749	227,268	166,573	174,359	165,013	135,191		2,594,770	2,729,961
全国	非初回受診者数	40,390	125,986	273,754	352,320	459,547	469,925	425,672	366,932	407,827	490,054	451,155		3,412,407	3,863,562
全国	受診歴不明	12,488	17,498	24,662	22,073	26,891	23,265	21,093	15,375	16,696	17,249	17,222		197,290	214,512
全国	受診率	8.9%	14.1%	20.0%	18.4%	19.1%	16.0%	15.8%	14.3%	15.8%	15.0%	13.3%		15.9%	15.6%

※受診者数は2019 (R1) 年度と2018 (H30) 年度の受診者数の合計から2019 (R1) 年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

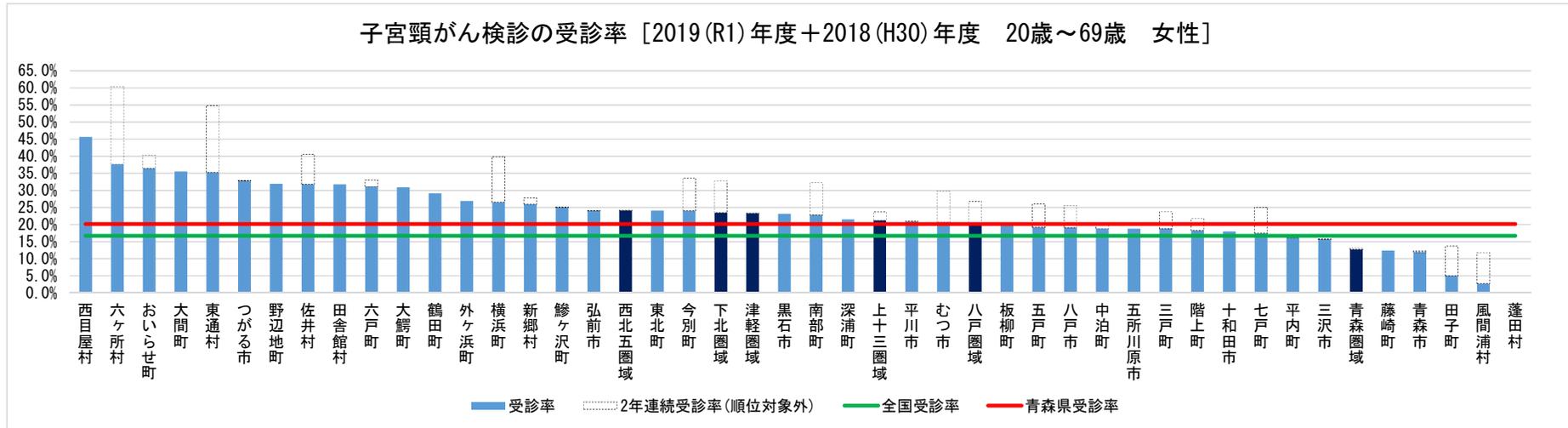
(出典：2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

2019 (R1) 年度 子宮頸がん検診の受診率 (国保分)

1. 子宮頸がん検診の受診率

受診率は、検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標で、高いことが望ましい。

対象者数(分母)は対象年齢の国民健康保険被保険者で、受診者数(分子)は市町村事業の国民健康保険被保険者の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。



<子宮頸がん検診の受診率 [2019 (R1) 年度+2018 (H30) 年度 20歳～69歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	16.7%	20.1%	12.7%	23.3%	20.5%	24.1%	21.2%	23.4%	11.9%	24.1%	19.1%	23.1%	18.8%	18.1%	15.7%	20.6%	32.8%	20.9%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	37位	17位	27位	20位	29位	32位	35位	24位	6位	23位
受診者数	1,450,453	20,668	2,913	5,630	4,657	3,100	2,974	1,394	2,485	3,474	2,873	636	989	914	453	901	1,049	529
対象者数	8,670,851	102,621	22,885	24,146	22,769	12,863	14,007	5,951	20,846	14,412	15,011	2,752	5,251	5,061	2,892	4,366	3,196	2,529
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	16.1%	24.0%	0.0%	26.9%	25.0%	21.5%	45.6%	12.4%	30.8%	31.8%	20.2%	29.2%	18.8%	32.0%	17.4%	31.1%	26.5%	24.1%
順位	34位	19位	—	13位	16位	22位	1位	36位	11位	9位	25位	12位	28位	7位	33位	10位	14位	18位
受診者数	190	55	13	170	269	190	47	160	269	199	316	394	209	351	236	269	200	348
対象者数	1,177	229	0	633	1,074	882	103	1,291	872	626	1,561	1,351	1,109	1,097	1,353	864	755	1,446
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	37.7%	36.4%	35.5%	35.3%	2.7%	31.8%	18.8%	19.2%	5.0%	22.8%	18.2%	25.9%						
順位	2位	3位	4位	5位	39位	8位	30位	26位	38位	21位	31位	15位						
受診者数	203	668	214	212	5	62	172	286	27	361	214	56						
対象者数	539	1,835	602	601	187	195	915	1,491	543	1,584	1,174	216						

[受診率の計算方法について]

(2019年度の受診者数-2019年度の2年連続受診者数
+2018年度の受診者数) ÷ 2019年度の対象者数
= 受診率

※受診率が0%の市町村は、対象者や受診者が0であるか、対象者が未把握のものである。

※県平均より受診率が低い(ただし、対象者数が0の場合を除く)箇所を色付けしている。

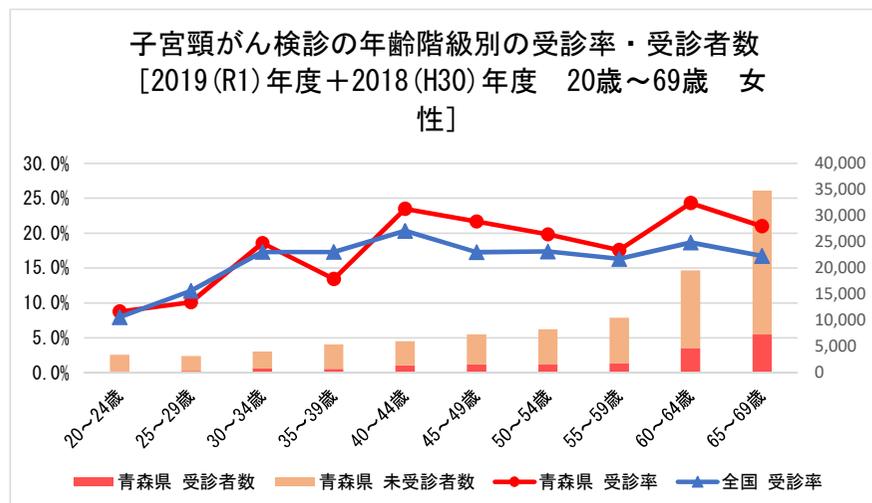
※受診率及び順位は、2年連続受診率を除いたものである。

(出典: 2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況

[自治体名：青森県]

検診受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか等）を確認する。



<子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [2019 (R1) 年度+2018 (H30) 年度 女性] >

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	20～69歳
青森県	対象者数	3,422	3,161	4,080	5,422	6,009	7,287	8,282	10,537	19,584	34,837			102,621
青森県	受診者数	300	319	759	729	1,411	1,579	1,643	1,852	4,764	7,312			20,668
青森県	受診率	8.8%	10.1%	18.6%	13.4%	23.5%	21.7%	19.8%	17.6%	24.3%	21.0%			20.1%
全国	対象者数	437,556	418,100	457,029	521,197	603,516	715,709	688,640	771,818	1,358,111	2,699,175			8,670,851
全国	受診者数	34,872	48,974	79,083	90,277	122,683	123,559	119,636	126,036	253,622	451,711			1,450,453
全国	受診率	8.0%	11.7%	17.3%	17.3%	20.3%	17.3%	17.4%	16.3%	18.7%	16.7%			16.7%

※受診者数は2019 (R1) 年度と2018 (H30) 年度の受診者数の合計から2019 (R1) 年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

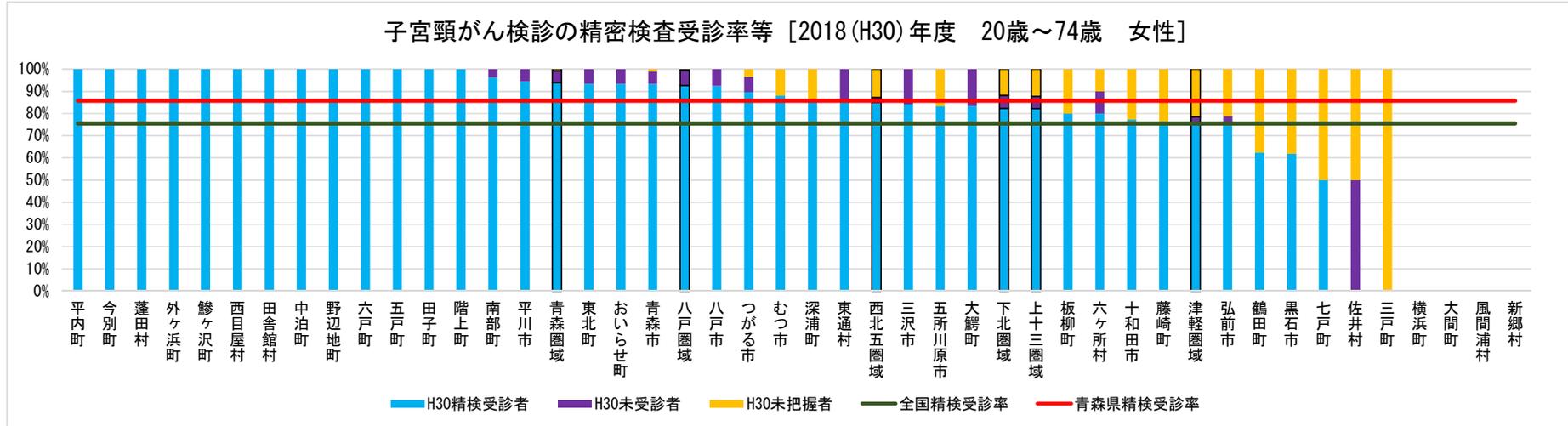
(出典：2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

2018 (H30) 年度 子宮頸がん検診のプロセス指標

1. 子宮頸がん検診の精密検査受診率・未受診者率・未把握率

精密検査受診率と未受診率は、要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標で、受診率が高いことが望ましい。

精検未把握率は、受診の有無や精検結果が適切に把握されたかを測る指標で、ゼロにすることが必要である。



<子宮頸がん検診の精密検査受診率等 [2018 (H30) 年度 20歳～74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
精検受診率	75.5%	85.7%	94.0%	75.5%	92.7%	85.1%	82.2%	82.4%	93.3%	75.2%	92.4%	61.9%	83.3%	77.3%	84.2%	88.0%	89.7%	94.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	18位	31位	19位	33位	25位	29位	24位	21位	20位	15位
精検受診者数	63,909	858	109	225	342	80	74	28	97	152	269	26	35	17	16	22	26	17
要精検者数	84,681	1,001	116	298	369	94	90	34	104	202	291	42	42	22	19	25	29	18
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
精検受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	76.5%	83.3%	100.0%	80.0%	62.5%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	93.3%
順位	1位	1位	1位	1位	1位	22位	1位	30位	25位	1位	27位	32位	1位	1位	34位	1位	—	16位
精検受診者数	5	2	1	4	5	6	1	13	5	7	4	5	3	8	5	6	0	14
要精検者数	5	2	1	4	5	7	1	17	6	7	5	8	3	8	10	6	0	15
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
精検受診率	80.0%	93.3%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	96.3%	100.0%	0.0%						
順位	27位	16位	—	22位	—	35位	35位	1位	1位	14位	1位	—						
精検受診者数	8	28	0	6	0	0	0	4	3	26	12	0						
要精検者数	10	30	0	7	0	2	2	4	3	27	12	0						

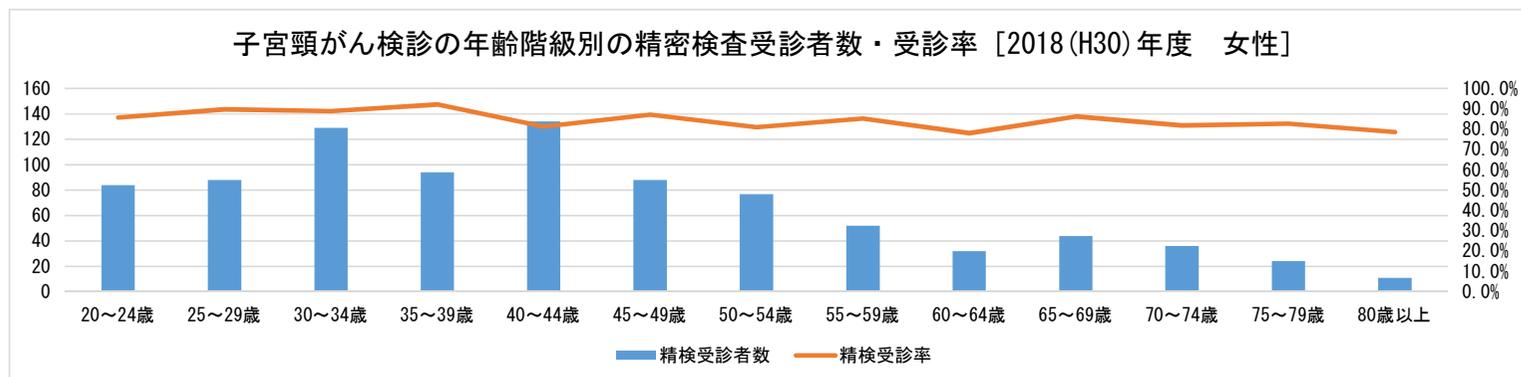
[精検受診率の計算方法について]
 精検受診者数 ÷ 要精密検査者数 = 精検受診率
 未受診者数 ÷ 要精密検査者数 = 精検未受診率
 未把握者数 ÷ 要精密検査者数 = 精検未把握率

※県平均より受診率が低い(ただし、要精検者数がゼロの場合を除く)箇所を色付けしている。

(出典：2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

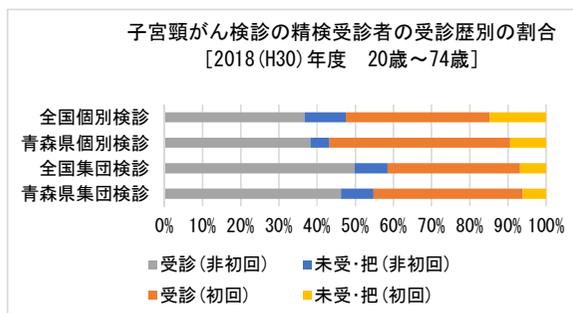
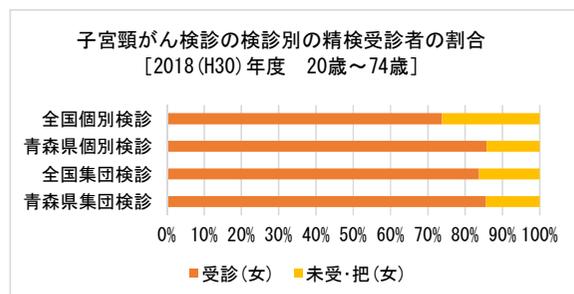
2. 子宮頸がん検診の精密検査受診者の内訳

精密検査受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか、初回受診者は多いか等）を確認する。



<子宮頸がん検診の年齢階級別の精密検査受診者数・受診率 [2018 (H30) 年度 女性] >

区分	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～74歳
青森県 精検受診者数	84	88	129	94	134	88	77	52	32	44	36	24	11	893	858
青森県 要精検者数	98	98	145	102	165	101	95	61	41	51	44	29	14	1,044	1,001
青森県 精検受診率	85.7%	89.8%	89.0%	92.2%	81.2%	87.1%	81.1%	85.2%	78.0%	86.3%	81.8%	82.8%	78.6%	85.5%	85.7%



<子宮頸がん検診の検診別の精検受診者数・割合 [2018 (H30) 年度 20歳～74歳] >

区分	受診(女)	未受・把(女)	受診(女)割合	未受・把(女)割合
青森県集団検診	261	44	85.6%	14.4%
全国集団検診	11,944	2,329	83.7%	16.3%
青森県個別検診	597	99	85.8%	14.2%
全国個別検診	51,965	18,443	73.8%	26.2%

<子宮頸がん検診の受診歴別の精検受診者数・割合 [2018 (H30) 年度 20歳～74歳] >

区分	受診(非初回)	未受・把(非初回)	受診(初回)	未受・把(初回)
青森県集団検診	134	25	113	18
全国集団検診	6,765	1,170	4,703	931
青森県個別検診	256	34	317	63
全国個別検診	23,857	7,070	24,464	9,653

※初回・非初回別で計上できていない市区町村があるため
他の集計の精検受診者数と異なる場合がある。

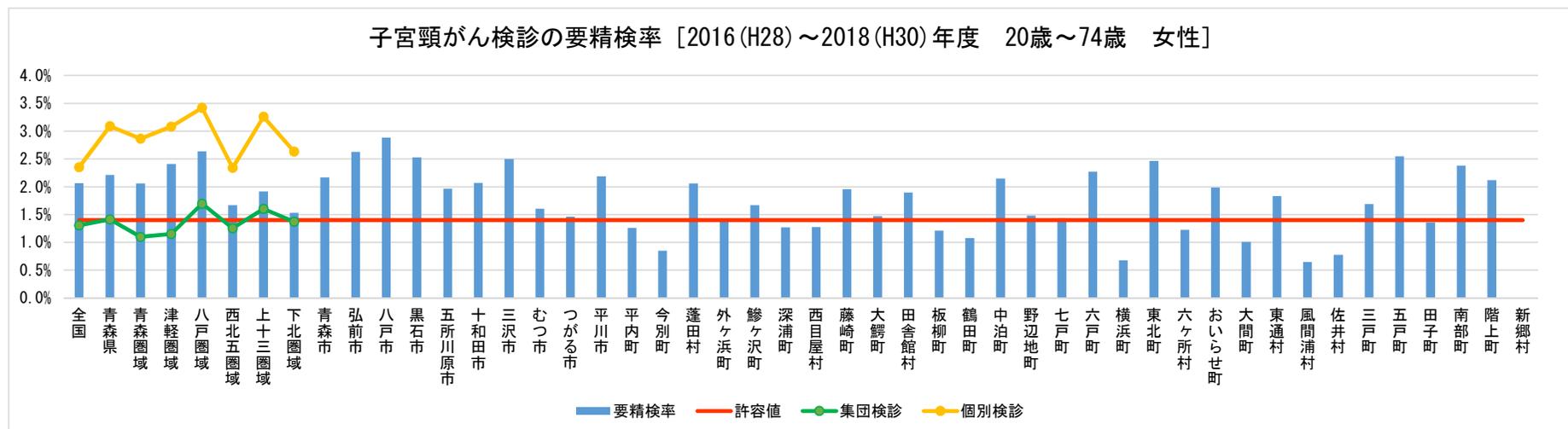
(出典：2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

3. 子宮頸がん検診の要精検率（参考値）

要精検率は、検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【子宮頸がん検診の要精検率の許容値=1.4%以下】



<子宮頸がん検診の要精検率 [2016 (H28)～2018 (H30) 年度 20歳～74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
要精検率	2.1%	2.2%	2.1%	2.4%	2.6%	1.7%	1.9%	1.5%	2.2%	2.6%	2.9%	2.5%	2.0%	2.1%	2.5%	1.6%	1.5%	2.2%
要精検者数	251,176	3,047	362	866	1,045	290	336	148	331	574	783	129	137	92	86	107	81	65
受診者数	12,152,048	137,672	17,565	35,956	39,606	17,373	17,506	9,666	15,288	21,864	27,154	5,107	6,975	4,444	3,438	6,650	5,539	2,971

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
要精検率	1.3%	0.9%	2.1%	1.4%	1.7%	1.3%	1.3%	2.0%	1.5%	1.9%	1.2%	1.1%	2.1%	1.5%	1.4%	2.3%	0.7%	2.5%
要精検者数	10	3	7	11	16	13	5	39	20	18	16	19	24	16	33	32	6	45
受診者数	793	352	340	792	959	1,025	392	1,993	1,360	949	1,320	1,758	1,117	1,080	2,302	1,408	888	1,824

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
要精検率	1.2%	2.0%	1.0%	1.8%	0.6%	0.8%	1.7%	2.5%	1.4%	2.4%	2.1%	0.0%
要精検者数	26	71	8	28	2	3	17	50	10	71	43	0
受診者数	2,122	3,582	792	1,530	309	385	1,005	1,965	735	2,984	2,033	148

[要精検率の計算方法について]

各年度の要精検者数÷各年度の受診者数=要精検率

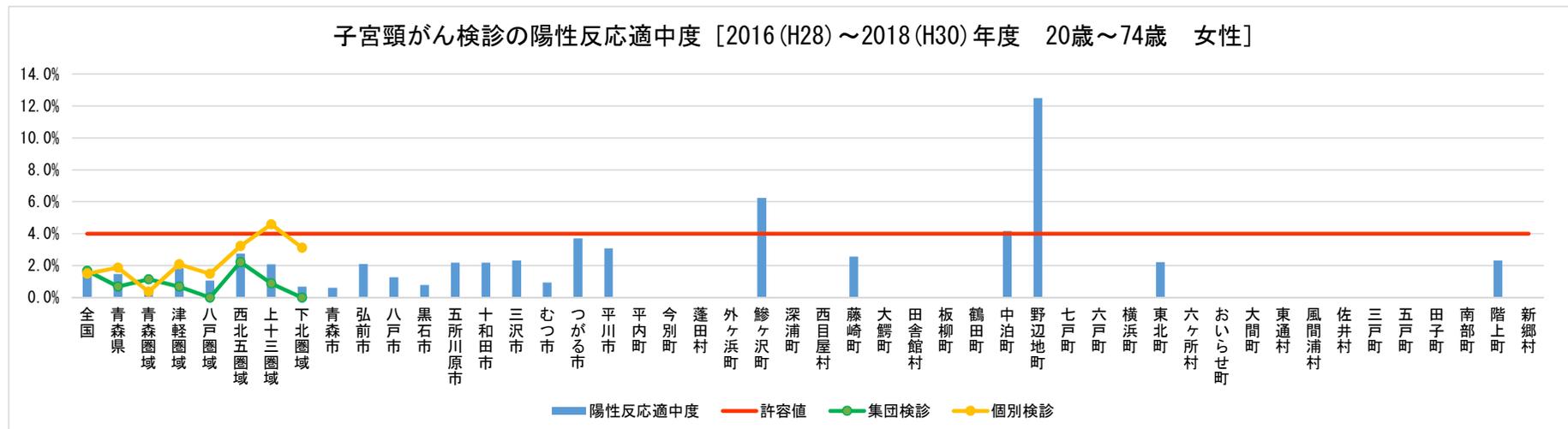
(出典：2017 (H29)～2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

4. 子宮頸がん検診の陽性反応適中度（参考値）

陽性反応適中度は、その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標。基本的に高いことが望ましいが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

精検受診率が低い場合や受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【子宮頸がん検診の陽性反応適中度の許容値=4.0%以上】



<子宮頸がん検診の陽性反応適中度 [2016 (H28) ~2018 (H30) 年度 20歳~74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
陽性反応適中度	1.5%	1.5%	0.6%	1.8%	1.1%	2.8%	2.1%	0.7%	0.6%	2.1%	1.3%	0.8%	2.2%	2.2%	2.3%	0.9%	3.7%	3.1%
がんであった者	3,824	45	2	16	11	8	7	1	2	12	10	1	3	2	2	1	3	2
要精検者数	251,176	3,047	362	866	1,045	290	336	148	331	574	783	129	137	92	86	107	81	65

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	
陽性反応適中度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	
がんであった者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1
要精検者数	10	3	7	11	16	13	5	39	20	18	16	19	24	16	33	32	6	45	

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
陽性反応適中度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%
がんであった者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
要精検者数	26	71	8	28	2	3	17	50	10	71	43	0

[陽性反応適中度の計算方法について]

各年度のがんであった者÷各年度の要精検者数=陽性反応適中度

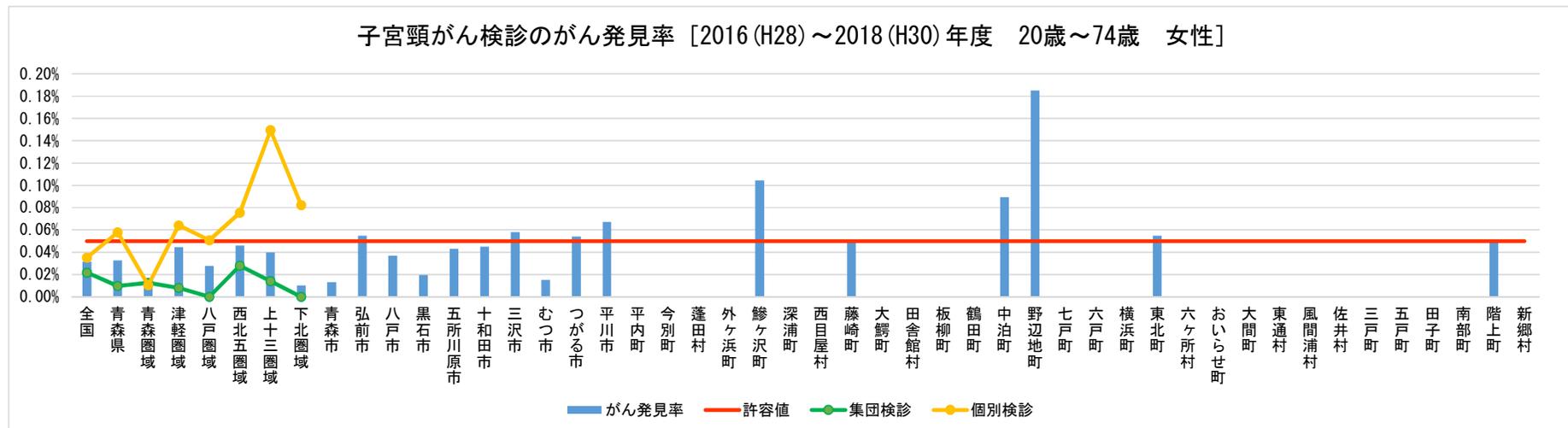
(出典：2017 (H29) ~2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)

5. 子宮頸がん検診のがん発見率（参考値）

がん発見率は、その検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標。基本的に高いことが望ましいが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

精検受診率が低い場合や受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【子宮頸がん検診のがん発見率の許容値=0.05%以上】



<子宮頸がん検診のがん発見率 [2016 (H28) ~ 2018 (H30) 年度 20歳~74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
がん発見率	0.03%	0.03%	0.01%	0.04%	0.03%	0.05%	0.04%	0.01%	0.01%	0.05%	0.04%	0.02%	0.04%	0.05%	0.06%	0.02%	0.05%	0.07%
がんであった者	3,824	45	2	16	11	8	7	1	2	12	10	1	3	2	2	1	3	2
受診者数	12,152,048	137,672	17,565	35,956	39,606	17,373	17,506	9,666	15,288	21,864	27,154	5,107	6,975	4,444	3,438	6,650	5,539	2,971

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	
がん発見率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.10%	0.00%	0.00%	0.05%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.09%	0.19%	0.00%	0.00%	0.00%	0.05%	
がんであった者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1
受診者数	793	352	340	792	959	1,025	392	1,993	1,360	949	1,320	1,758	1,117	1,080	2,302	1,408	888	1,824	

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
がん発見率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.05%	0.00%
がんであった者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
受診者数	2,122	3,582	792	1,530	309	385	1,005	1,965	735	2,984	2,033	148

[がん発見率の計算方法について]

各年度のがんであった者 ÷ 各年度の受診者数 = がん発見率

(出典：2017 (H29) ~ 2019 (R1) 年度地域保健・健康増進事業報告)